

# 健康福祉みらい部長の仕事宣言！

健康福祉みらい部長 詫 間 聡

## 1 リーディングプロジェクト実現のための部局の基本姿勢

子どもから高齢者までのすべての世代、また、障害のある方などすべての人がいきいきと生きがいを持って、住み慣れた地域の中で安全安心に暮らせるまちづくりに取り組むことが、鳥栖市を魅力あるまちとして、さらに発展させ、そして継承することに繋がります。

健康福祉みらい部では、「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」として、健康で充実した生活を送るため、積極的に自らの健康づくりに取り組むことができるように、うらら健康マイレージクラブを推進するとともに、生涯を通じての「健康」をキーワードに、健診（検診）を受けやすい環境づくりや生活習慣病予防対策、介護予防などの高齢者福祉事業に取り組みます。

また、安心して出産育児ができるように、家庭や学校、地域で未来を担う子どもたちを温かく育むための子育て支援や健診・救急医療体制の充実に努めます。さらに、「鳥栖市子ども・支援事業計画」に基づき、保育所等の環境整備などに努め、待機児童の解消を目指します。

「多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト」として、様々な文化・芸術に触れる機会の創出に努めます。また、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が健康・体力・生きがいづくりを行う場として、（仮称）健康スポーツセンター整備事業を推進します。

## 2 リーディングプロジェクト10の内容

### ●リープロ10の名称〔4 市民の暮らしを支えるまちをつくるプロジェクト〕

- ①地域における健康づくりを進めます〔健康増進課〕
- ②若い世代からの生活習慣病予防対策を進めます〔健康増進課〕
- ③救急医療体制の充実を図ります〔健康増進課〕
- ④保育供給量の拡充を図ります〔こども育成課〕
- ⑤地域子育て支援拠点事業を進めます〔こども育成課〕
- ⑥母子の健康管理への支援を行います〔健康増進課〕
- ⑦介護予防を進めます〔社会福祉課〕
- ⑧高齢者の地域における生活支援体制の充実を図ります〔社会福祉課〕
- ⑨高齢者の生きがいづくりと社会参加の支援を行います〔社会福祉課〕
- ⑩障害のある人の自立支援を充実させます〔社会福祉課〕
- ⑪障害のある人が地域生活に定着できるよう支援体制の充実を図ります〔社会福祉課〕

### ●リープロ10の名称〔6 多様な文化が息づくまちづくりプロジェクト〕

- ①多彩な文化事業の展開を図ります〔文化芸術振興課〕
- ②スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります〔スポーツ振興課〕
- ③スポーツ施設の整備・利用促進を図ります〔スポーツ振興課〕

### 3 リーディングプロジェクト 10 の行動目標

#### ●リープロ 10 の名称〔4 市民の暮らしを支えるまちをつくるプロジェクト〕

- ①地域における健康づくりを進めます
- ②若い世代からの生活習慣病予防対策を進めます
- ③救急医療体制の充実を図ります
- ④保育供給量の拡充を図ります
- ⑤地域子育て支援拠点事業を進めます
- ⑥母子の健康管理への支援を行います
- ⑦介護予防を進めます
- ⑧高齢者の地域における生活支援体制の充実を図ります
- ⑨高齢者の生きがいづくりと社会参加の支援を行います
- ⑩障害のある人の自立支援を充実させます
- ⑪障害のある人が地域生活に定着できるよう支援体制の充実を図ります

子育てを支え合い、子どもたちが健やかに成長し、喜び・温かみ・安心感のあるまちづくりに取り組みます。また、市民の健康活動を支援し、健康管理・増進のための取組を進めていきます。

#### ○指標

- ・全死亡に対する早世（65歳未満の死亡）の割合  
（平成25年度）13.3% ⇒（平成32年度）12.6%
- ・休日や夜間に受診できる医療機関を知っている親の割合〔1歳6か月健診時〕  
（平成26年度）92.9% ⇒（平成32年度）100%
- ・鳥栖市地域子育て支援センター利用者  
（平成26年度）28,522人 ⇒（平成32年度）36,000人
- ・保育所待機児童数（平成26年度）32人 ⇒（平成32年度）0人
- ・要支援・要介護認定者の割合  
（平成26年度）17.67% ⇒（平成32年度）17.60%
- ・相談支援事業年間利用者数（平成26年度）253人 ⇒（平成32年度）310人

#### ○平成29年度に具体的に何をしていくのか

- ・うらら健康マイレージクラブに参加しやすいように、通年での実施、ポイントの繰越など実施内容の拡充を図ります。
- ・特定健診の受診率の向上を図ります。また、特定健診の結果がハイリスクである方へ家庭訪問による保健指導を行い、生活習慣病の重症化予防に努めます。
- ・休日救急医療センターを運営するとともに、久留米広域小児救急医療センター事業に参加し、小児の救急体制を確保します。
- ・保育所の定員増、認定こども園2か園の施設整備の支援など保育供給量の確保に努め、待機児童等の解消を図ります。
- ・保護者の育児不安の緩和のため、子育て支援センターでの育児相談や育児講座等を行います。
- ・介護予防事業を進めます。
- ・「いきいき健康教室」「ふまねっと教室」「ロコトレ教室」等、軽運動による健康的な生活習慣の形成と適切な運動習慣の普及定着を推進します。
- ・障害のある人の自立支援を充実させます。
- ・障害のある人が地域生活に定着できるよう支援体制の充実を図ります。

●リープロ 10 の名称〔6 多様な文化が息づくまちプロジェクト〕

- ①多彩な文化事業の展開を図ります
- ②スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります
- ③スポーツ施設の整備・利用促進を図ります

文化・芸術活動は、私たちの心にゆとりややすらぎ、感動を与え、明日への活力となります。スポーツは、健全な心身の発達を促し、健康で充実した、生きがいのある生活につながります。これらを「文化」としてとらえ、市民が多様な文化に触れ、親しむ機会を提供することで、文化が息づくまちづくりを目指します。

○指標

- ・文化事業入場・参加者数  
(平成26年度) 27,818人 ⇒ (平成32年度) 30,000人
- ・市民文化祭入場・参加者数  
(平成26年度) 18,075人 ⇒ (平成32年度) 22,000人
- ・市有体育施設利用者数  
(平成26年度) 627,181人 ⇒ (平成32年度) 650,000人
- ・市民スポーツセミナー(指導者向け)参加者数  
(平成26年度) 25人 ⇒ (平成32年度) 50人

○平成29年度に具体的に何をしていくのか

- ・市民文化活動の振興を図ります。アウトリーチ事業、鳥栖市市民文化祭事業。
- ・スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります。各種教室・大会開催、総合型地域スポーツクラブ支援事業、全国大会出場費の助成事業、サガン鳥栖支援事業、地域交流推進事業。
- ・(仮称)健康スポーツセンター整備事業を推進します。
- ・文化芸術・スポーツ施設の整備・利用促進を図ります。スポーツ施設の合理的・機能的な運用
- ・文化芸術・スポーツを担う人材・団体を育成・支援します。鳥栖市体育協会、スポーツ推進委員会、鳥栖市文化事業協会委託事業、フッペル鳥栖ピアノコンクール事業。